

ザイロン バイオテクノロジー 株式会社

- 【訪問先】 ザイロン バイオテクノロジー 株式会社
Xylon Biotechnologies Ltd
- 【所在地】 B.C. Research & Innovation Complex (UBC)
3650 Wesbrook Mall, Vancouver, B.C. Canada
Tel. (604) 224-7701, Fax. (604) 224-7703
- 【訪問日】 2003年10月8日 (水) 午前
- 【対応者】 Ph.D. David Jones (President)
Mr. Norm Thwaites (Chief Executive Officer)

1. はじめに

カナダにおけるバイオテクノロジー関係ベンチャー企業としてカナダ大使館より紹介のあったXylon Biotechnologies社のプレゼンテーションを受けた。

Xylon社は装置メーカーではなく、化学薬品系の研究が主体の企業である。

以下にXylon社の概要を示す。

1.1. 名称

Xylon Biotechnologies Ltd

1.2. 設立

2002年2月13日

1.3. メンバー

現在スタッフは6名。MBAを持つ日本人女性も1名含まれる。6ヶ月以内に4名増加予定。

1.4. 事業内容

バンクーバー近郊の植物から薬利効果の有的抽出物の調査、研究。

製造・販売は100%子会社のローントラボラトリで行っている。また、米国デラウェア州でも製造販売を行っている。

1.5. 財務情報

資本金 500,000加ドル

発行株数 1500万株

1.6. 日本との提携企業

高砂香料工業とシダ抽出物に関し、4年間提携している。

2. プレゼンテーション内容

Xylon社によるプレゼンは、ブリティッシュ・コロンビア大学内のイノベーションセンターで行われた。

イノベーションセンターは1950年に州政府が建設し、1970年に民営化され、現在20社が入っている。センター内には大きなラボもあり、業務用機器も設置できるそうである。

2.1. 商品の紹介

Xylon社では、バンクーバー近郊の森林に植生するRed Cedar (針葉樹) から、天然の合成物を130種以上発見しており、薬利効果の高い合成物の商品化を行っている。

既に市場に出せるものとして、日本では青森ひば (ヒノキ科) から抽出されヒノキチオールと呼ぶThujaplicinがある。

Thujaplicinは、薬として大阪の大学から論文も出ており、英国 (クエストインターナショナル) や米国からも問い合わせ来ている価値の高い合成物である。また最近話題のMRSA (院内感染) に対し有効な抗菌剤であ

ることを確認したことから、医療機関の様々な場で活用できると期待している。

Xylon社では、Thujaplicinの日焼け止めやインフルエンザ等薬品としてのアプリケーションとして商品化してくれる日本企業を探している。

その他の合成物として、Thujic Acidは防虫剤として、Plicatic Acidは油脂類の天然保存剤として活用できる。

2.2. 廃材の入手

カナダには8億m³の木材が有り、政府は、年間800万m³の伐採を許可している。(木を刈るまで100年必要であるため)

針葉樹の廃材は、200万m³ (100万ton以上)が産廃処理されている。Xylon社ではその廃材から有効な合成物の抽出を行っている。

2.3. 生産力

現在の生産能力は5 ton/日、100 ton/日の設

備があり、近隣の製材工場から廃材を受入れている。

3. 所感

Xylon社の事業内容は、化学・薬品業であり、工業会構成企業の業務内容とは異なっているが、ヒノキチオールは知る人ぞ知る高級なアロマオイルで、1ℓ当たり数万円で取り引きされている。最近、SARSに対する抗菌効果が確認されたとの報道もあった。

バイオマスの有効利用＝代替燃料と考えがちな昨今、まずその前に活用できる物質が無いか？考えさせられた訪問であった。

最後に、イノベーションセンターの生い立ちから商品説明まで、非常に熱心にプレゼンテーションして頂いたDavid Jones社長に深く感謝の意を表したい。

(担当：藤田 徹、加藤 毅、吉本 聡)



写真1 会議風景